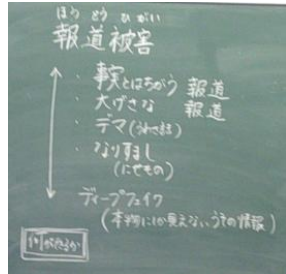




2 / 2 5年 社会 — 「情報化した社会と産業」まとめ —



情報を正しく受け取る力を育てて

5年生の社会科では、「情報化した社会と産業」の学習のまとめとして、マスメディアの報道について振り返りました。ニュース番組などは、誰にでもわかりやすく、公平・中立・客観的に伝えることを大切にしているという学びを再確認しました。

さらに、現代の社会で問題となっている報道被害についても考える時間を設けました。事実と異なる報道、デマ情報、なりすまし、ディープフェイクなど、情報をめぐるトラブルが増えていることを知り、「情報を受け取る側の姿勢」がとても重要であることを実感しました。

教師からの「受け取る側が気を付けなければならないことは何か」という問いに対して、子どもたちは「いろいろな情報を見る」「報道被害があるかもしれないことを知る」「事実かどうか確認する」など、主体的で確かな意見を発表していました。

情報があふれる社会の中で、自分の身を守り、正しく判断する力を育てる大切な学びとなりました。



2 / 2 図書室掲示

前向きな気持ちをそっと後押しするメッセージ

図書室前の掲示には、「涙を味方にして 笑って進もう 笑えば勝ちさ」という、心に明かりがとまるような言葉が掲げられています。



立ち止まって読んだ子どもたちが、思わず表情をゆるめたりうなずいたりする姿が見られました。つまずいたときも、悔しい気持ちになったときも、「また前に進んでみよう」と、気持ちを新たにできる、あたたかいメッセージです。

いつもながら、図書室の掲示は子どもたちに元気を届けてくれます。学校の中で、そっと背中を押してくれる言葉に出会える場所があることは、とても心強いものです。